拠出金・基金
の名称

国連国際防災戦略事務局拠出金

種 別

イヤマークのみ 一部イヤマーク

【拠出先の国際機関名】国連国際防災戦略事務局

【所管官庁担当局課・室名】内閣府政策統括官(防災担当)付参事官(普及啓発・連携担当)室

【当該任意拠出金の目的・用途等】

国連国際防災戦略事務局(UNISDR)は、各国が自らの力で防災を進められるよう、「第3回国連防災世界会議」(平成27年3月・仙台市)において採択された国際的な防災指針である、「仙台防災枠組 2015-2030」に基づく各国の取組の推進とフォローアップ等に係る活動を実施している。

我が国は、UNISDRのそれらの活動に対する支援を実施しており、本拠出金は、同枠組に明記された「より良い復興」に関する情報収集・発信、人材育成等の活動にも、国際復興支援プラットフォーム(IRP)を通じて活用されている。

【最近3年間の我が国支払額及びODA率】

単 位	邦 貨 (千 円)	外貨1 (千米ドル)	外貨2 (千)	レ ー ト	ODA率(%)
平成28年度	95,160	793		1米ドル=120円	0
平成27年度	57,200	520		1米ドル=110円	0
平成26年度	408,244	4,209		1米ドル= 97円	0

【当該任意拠出金等の意義、成果等に関する我が国としての評価】

UNISDRの活動により、平成17年に国際的な防災の取組指針である「兵庫行動枠組(HFA)」が策定されて以来、防災委員会を設置した国が約10倍の116か国に増加するなど、途上国を中心とした多くの国において防災意識の向上が見受けられる。平成27年3月にはHFAの後継枠組となる「仙台防災枠組2015-2030」が第3回国連防災世界会議(仙台市)において策定され、そのフォローアップとして、平成28年にはアジア防災閣僚級会議をインド政府と共催するなど、様々な活動を通じて、世界の防災戦略の推進に貢献している。

さらに、IRPの活動により、各国における「より良い復興」に関する知識の共有等が進んでおり、平成28年度においては、復興活動の経験を取りまとめた「分野別復興ガイダンスノート」をもとにした、人材育成ワークショップの実施、国際復興フォーラムの開催など、世界各地でその推進に努めている。

【備考】